



ホーム > お知らせ > プレスリリース

# プレスリリース

2020年

2019年

**2018年**

2017年

2016年

## 2018年

9月3日

「富士通SSLソリューションフォーラム2018」を開催

6月28日

役員人事について

6月18日

ランサムウェア専用対策ソフト「MBSD Ransomware Defender」を販売開始

5月29日

IoT/組み込み機器向けマルウェア対策「WhiteSec」Linux版を販売開始

5月8日

「SHieldMailChecker 誤送信防止」がSMTP接続でのメールセキュリティ機能を強化

---

4月4日

「第10回 ワークライフバランス大賞」優秀賞を受賞

---

4月2日

役員人事に関するお知らせ

---

3月2日

代表取締役人事について

---

2月21日

富士通SSLが「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定されました

---

1月19日

能楽協会主催「能楽フェスティバル2017-2020 『第3回シンポジウム』」において富士通のダイバーシティ・コミュニケーションツール「LiveTalk」を活用

---

2015年以前のプレスリリースは[旧ページ](#)をご確認ください。

[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > プレスリリース > 「富士通SSLソリューションフォーラム2018」を開催

プレスリリース

2018年9月3日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー

# 「富士通SSLソリューションフォーラム2018」を開催

～ デジタルテクノロジーでみらいを創る ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：土肥 啓介）は、2018年10月25日（木曜日）、10月26日（金曜日）の2日間、川崎市コンベンションホール（川崎市 武蔵小杉）にて、「デジタルテクノロジーでみらいを創る」をテーマにプライベートフォーラム「富士通SSLソリューションフォーラム2018」を開催します。

近年、情報社会に続く5番目の新しい社会 Society 5.0の実現が提唱されるなか、企業では、労働問題や少子高齢化などの社会的課題を解決するため、IoT、AI、ロボットなどデジタルテクノロジーを活用したイノベーションによる価値創出が急速に推進されています。

「富士通SSLソリューションフォーラム2018」では、Society 5.0を実現する働き方改革やセキュアな環境を支える最新のソリューションやサービスをデモ展示形式でご紹介します。また、働き方改革、セキュリティ等に精通した有識者を講師としてお迎えし、セミナーを実施します。

本フォーラムのご案内や事前お申し込みなどの詳細については、「富士通SSLソリューションフォーラム2018」 Webサイトをご覧ください。

## ■「富士通SSLソリューションフォーラム2018」開催概要

会 期
2018年10月25日（木曜日） 13時～17時 [受付 13時～16時30分] 2018年10月26日（金曜日） 10時～17時 [受付 10時～16時30分]
会 場
川崎市コンベンションホール（川崎市 武蔵小杉）
テーマ
デジタルテクノロジーで未来を創る
参加費
無料（事前参加申込制） [申し込み締切] 2018年10月19日（金曜日） 17時

「富士通SSLソリューションフォーラム2018」 Webサイト  
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/about/resources/events/forum/>

### 【デモ展示】

みらいのオフィスなど様々なシーンを想定した空間で最新のデジタルテクノロジーを体感いただけます。

### 【セミナー】

先進的な働き改革を率先するヤフー株式会社や、「Splunk」を活用したセキュリティ対策に取り組む株式会社ジャパンネット銀行、今年度当社と協業を開始したデジタルプロセスオートメーションを提供するペガジャパン株式会社など、有識者6名による講演を予定しています。

#### ■10月25日（木曜日）

13時40分～14時40分

「Yahoo! JAPANの働き方改革」

ヤフー株式会社  
取締役会長 宮坂 学氏

15時10分～16時10分

「サイバー攻撃と戦う銀行 不正アクセス検知のノウハウ教えます」

株式会社ジャパンネット銀行  
IT統括部 サイバーセキュリティ対策室  
部長代理 小澤 一仁氏

■10月26日（金曜日）

10時40分～11時30分

「Pegaが実現するデジタル・プロセス改革」

ペガジャパン株式会社  
代表取締役社長 渡辺 宣彦氏

13時00分～13時50分

「最新デジタルテクノロジーが創り出す30年後のシンギュラリティの世界」

富士通株式会社  
常務理事 首席エバンジェリスト 中山 五輪男氏

14時20分～15時10分

「サイバーセキュリティ研究の最前線 –IoT機器の大規模感染から標的型攻撃まで–」

国立研究開発法人 情報通信研究機構  
サイバーセキュリティ研究所 サイバーセキュリティ研究室  
室長 博士（工学） 井上 大介氏

15時40分～16時30分

「2020年東京オリンピックにおけるサイバーセキュリティについて  
–平昌オリンピックでのサイバー防御経験を踏まえた提言–」

IGLOO SECURITY INC. 日本法人  
代表取締役 崔 正濬氏

（注）デモ展示、セミナーの内容は変更することがあります。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

# 報道関係者お問い合わせ先

---

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail : [ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com](mailto:ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com)

# お客様お問い合わせ先

---

富士通SSLソリューションフォーラム2018事務局

E-mail : [ssl-forum@cs.jp.fujitsu.com](mailto:ssl-forum@cs.jp.fujitsu.com)

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > プレスリリース > 役員人事について

## プレスリリース

2018年6月28日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

# 役員人事について

2018年6月27日に開催された第49回定時株主総会において、下記の役員人事を決定しましたのでお知らせします。

なお、当社関連会社の役員人事についても、株式会社SSLパワードサービスは、2018年6月28日開催の第13回定時株主総会により、また株式会社富士通SSLハーモニーは、2018年6月28日開催の第1回定時株主総会により、下記のとおり決定しましたので、あわせてお知らせします。

## 記

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（2018年6月27日付）】

[選任]

代表取締役社長 土肥 啓介（重任）

取締役 仙田 健（重任）

取締役（非常勤） 砂田 敬之（重任）

取締役（非常勤） 飯島 淳一（重任）

監査役（非常勤） 若林 昭浩（新任）

[辞任]

監査役（非常勤） 山田 宏伸

---

**【株式会社SSLパワードサービス（2018年6月28日付）】**

[選任]

代表取締役社長 唐渡 直之（重任）

取締役 小林 正明（重任）

取締役 田代 文男（重任）

監査役（非常勤） 池之上 隆司

---

**【株式会社富士通SSLハーマニー（2018年6月28日付）】**

[選任]

代表取締役社長  
（非常勤） 仙田 健（重任）

取締役（非常勤） 唐渡 直之（重任）

取締役（非常勤） 梅原 裕一

監査役（非常勤） 池之上 隆司

**報道関係者お問い合わせ先**

---



# 株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail : [ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com](mailto:ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com)

---

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU



ホーム > プレスリリース > ランサムウェア専用対策ソフト「**MBSD Ransomware Defender**」を販売開始

プレスリリース

2018年6月18日

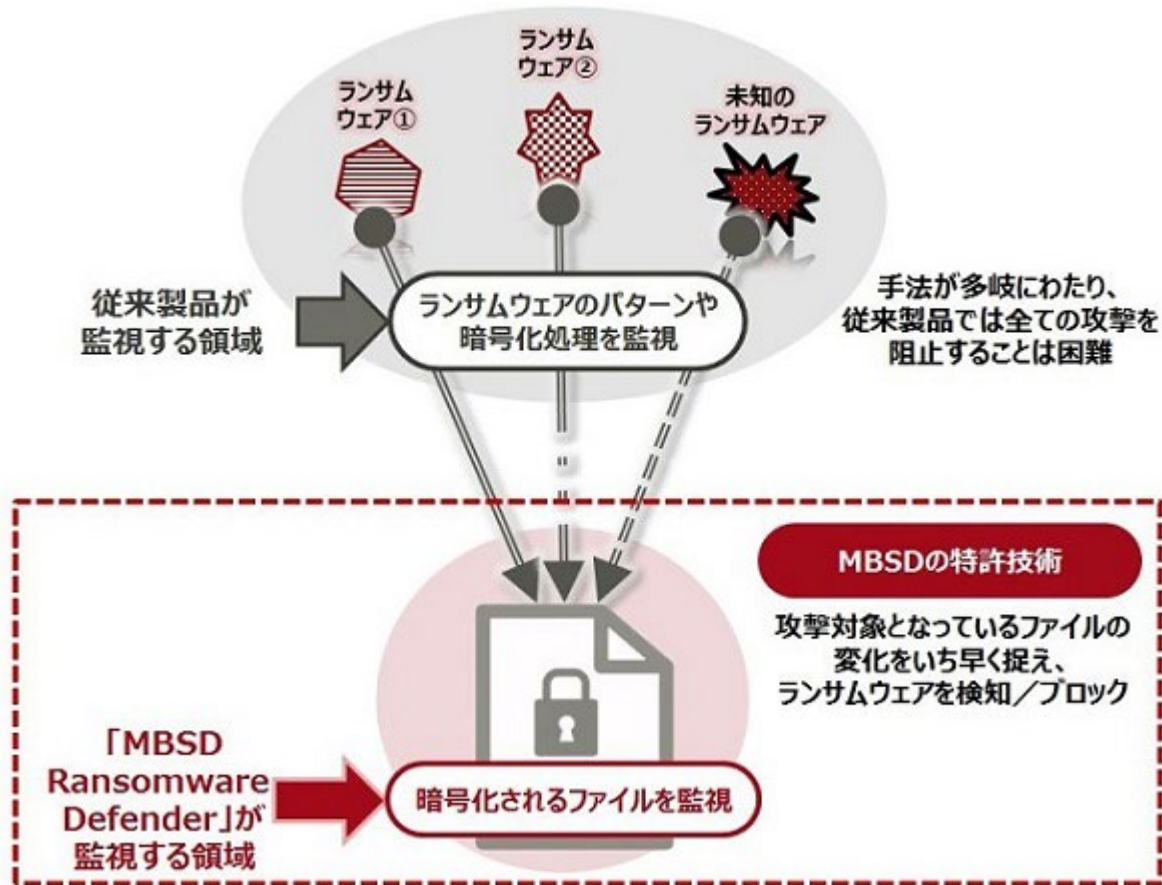
株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー

# ランサムウェア専用対策ソフト 「**MBSD Ransomware Defender**」を 販売開始

～ ランサムウェア特有のファイルの変化に着目した新たな特許技術でブロック～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：土肥 啓介）は、三井物産セキュアディレクション株式会社（以下：MBSD）と販売契約を締結し、国産製品唯一の特許技術を搭載したランサムウェア専用対策ソフトウェア「**MBSD Ransomware Defender**（エムビーエスディ ランサムウェア ディフェンダー）」を2018年6月18日に販売開始します。

## [動作概要]



現在、情報資産を暗号化し身代金を要求するランサムウェアは、不特定多数にばらまく手法から攻撃対象を法人に絞りこむなど、その手口は日々進化しています。また、今年4月、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が公開した「情報セキュリティ10大脅威2018」（注1）でランサムウェアが2位に位置づけられたこともあり、企業や組織では高度なランサムウェア対策がこれまで以上に重要視されています。しかしながら、従来のセキュリティ対策製品のように定義ファイルによるパターンマッチングやふるまい検知による判断では、次々に出現する新種のランサムウェアや多岐にわたる暗号化手法に対する被害を阻止することは困難とされています。

「MBSD Ransomware Defender」は、MBSD社が特許取得済みの独自技術（注2）を搭載したランサムウェア専用の対策ソフトウェアです。従来のセキュリティ対策製品のようにパターンマッチングやふるまい検知で判断するのではなく、攻撃対象となるファイルの状態に着目する新たな検知技術を備えています。この新技術により、ふるまい検知技術等を回避する高度な攻撃に対しても、ファイルに対する操作から即座にランサムウェアを検知し、一つのファイルも暗号化されることなくブロックすることができます。また本製品は、他の主要なアンチウイルスソフト製品と同居が可能で、クライアントPCにインストールするだけで導入でき、短期かつ容易にランサムウェア対策を追加することができます。

当社は、MBSD社の独自技術と当社の豊富なエンドポイント製品のサポート経験を組み合わせることで、ランサムウェア対策を求めるすべてのお客様に安心安全な環境を提供します。さらに今後、当社のセキュリティプロフェッショナルがお客様の課題やニーズに合わせ、本製品の最適な導入をご支援する導入支援サービスの提供を予定しています。

## 【「MBSD Ransomware Defender」の特長】

### 1.“ファイルの一つも暗号化させない”新たな特許技術で、暗号化される前にブロック

ふるまい検知回避、ヒューリスティック検知回避、サンドボックス検知回避など検知回避技術を用いた巧妙なランサムウェアに対しても、最初の暗号化挙動のタイミングで攻撃を検知し、暗号化を完全にブロックすることができます。検知されたランサムウェアは即座に安全に隔離され、レポート／ログ管理画面でプロセスやパスを確認することができます。

### 2.パターンファイルレスで動作可能

パターンファイルを使用しない検知技術を備えており、定期的なパターンファイルのアップデートを必要とせずに次々に出現する新種のランサムウェアを検知することができます。インターネットに接続できないクローズド環境に対してもアップデートを意識する必要なく安心して導入することができます。

### 3.容易に導入可能

国産製品で日本語インターフェースを備え、クライアントPCにインストールするだけで、短期かつ容易に導入することができます。また、他の主要なアンチウイルスソフト製品と同居可能で、ランサムウェア対策のみを追加することができます。

## 【販売価格（税別）】

製品名	販売価格
「MBSD Ransomware Defender」	1ライセンス 4,800円／年

※ ボリュームディスクカウントもごございます。詳細はお問い合わせください。

※ 保守サポートを含みます。

【販売開始日】 2018年6月18日

【販売目標】 2年で3億円、8万ライセンス

## 【三井物産セキュアディレクション株式会社様からのエンドースメント】

この度、セキュリティ製品の運用・サポートに関する豊富な実績をお持ちである株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ様に「MBSD Ransomware Defender」のお取り扱いを開始いただいたことを心から歓迎致します。

三井物産セキュアディレクション株式会社は、富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ様との協業により、多くのお客様がランサムウェアによる金銭被害やシステムの停止などの脅威から解放されるよう「MBSD Ransomware Defender」を提供してまいります。

## 【関連Webサイト】

- 「MBSD Ransomware Defender」製品ページ  
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/mrd/>

## 【注釈】

(注1) 「情報セキュリティ10大脅威2018」

2017年に発生した社会的に影響が大きかったと考えられる情報セキュリティにおける事案から、IPAが脅威候補を選出し、情報セキュリティ分野の研究者、企業の実務担当者など約100名のメンバーからなる「10大脅威選考会」が脅威候補に対して審議・投票を行い、決定されたものです。

(注2) MBSD社が特許取得済みの独自技術

ランサムウェアの検知および防御技術について2つの特許を取得。

[特許第5996145号、特許第 6219550号]

プロセスによって操作されるファイルの「暗号化される前」と「暗号化された後（のシミュレーション結果）」のファイル構造およびファイルの表層情報に着目し、本来変更が必要ない領域に変化が見られる場合には、正規の暗号化でないことを見極めた上でランサムウェアによる不正な暗号化と判断することを基本とした技術です。

## 【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL：<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、53のソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【三井物産セキュアディレクション株式会社について】 URL：<http://www.mbsd.jp/> 

三井物産セキュアディレクション株式会社は、サイバーセキュリティの専門会社として、ペネトレーションテスト、Webアプリケーション/ネットワーク脆弱性診断等の各種診断サービス、マルウェア解析、統合ログ監視サービス等の高度なセキュリティ技術サービス、コンサルティングサービス等を提供し、日本有数の高度セキュリティ技術人材が多数在籍する企業です。

## 【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

# 報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail : [ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com](mailto:ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com)

# お客様お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ [商品お問合せ窓口](#) >

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



[MBSD Ransomware Defender詳細](#)



[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)



ホーム > プレスリリース > IoT/組み込み機器向けマルウェア対策「WhiteSec」Linux版を販売開始

プレスリリース

2018年5月29日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー

# IoT/組み込み機器向けマルウェア対策 「WhiteSec」Linux版を販売開始

～ 性能への影響を最小限に抑え、Linux搭載のIoT/組み込み機器を  
サイバー攻撃から保護 ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：土肥 啓介）は、IoT/組み込み機器向けマルウェア対策ソフトウェア「WhiteSec（ホワイトセック）」のLinux版を2018年5月29日に販売開始します。

「WhiteSec」は、長年実績を積んできた当社開発のセキュアOS製品「FUJITSU Security Solution SHieldWARE（以下、SHieldWARE）」のサーバ要塞化技術を応用し、ゼロデイ攻撃（注1）など未知のマルウェアを防御するホワイトリスト実行制御機能等を搭載したIoT/組み込み機器向けのマルウェア対策ソフトウェアです。2017年12月にWindows版の販売を開始し、既に多くの引き合いを頂いています。

今回、IoT/組み込み機器のOSとして採用率の高いLinux版を提供することで、防犯カメラをはじめ、医療機器や検査装置、ロボット、ゲーム機など広範囲にわたる数多くのIoT/組み込み機器に導入いただけるようになりました。なお、「WhiteSec」Linux版は、必要な機能に絞り再設計したコンパクトなモジュールサイズやCPU負荷の少ない処理方式により、ハードウェアリソースの少ないLinux搭載IoT/組み込み機器の性能への影響を最小限に抑えています。

また、Linuxの各種ディストリビューションやカスタマイズされたLinux環境への導入が可能な「ポーティングサービス」の提供や、耐用年数の長いIoT/組み込み機器に合わせた保守サービス期間延長の個別対応により、同製品を安心して導入いただけます。

当社は、「WhiteSec」Linux版の提供により、今後さらなる拡大が予測されるIoT機器や組み込み機器へのサイバー攻撃を防御し、安心安全な社会の実現に貢献してまいります。

## 【背景】

あらゆるモノがインターネットにつながるIoTは、交通や医療、家電、工場など幅広い分野でさらなる進展が予測される一方で、設定不備など脆弱性を内在した防犯カメラやルータなどのIoT機器がマルウェアに感染し、大規模サイバー攻撃の踏み台にされるケースが近年多数発生しています。また、IoT機器や組み込み機器は、運用形態やデバイスの特性上セキュリティパッチをすぐに適用できないケースが多く、脆弱性が放置されやすいといった問題も指摘されており、対策が急がれています。

当社は、急務となっているIoT/組み込み機器のマルウェア対策のために、2004年の提供開始から機能強化を重ね実績を積んできたサーバ向けOSセキュリティ強化ツール「SHieldWARE」のセキュアOS技術を応用し、「WhiteSec」を新たに開発しました。

IoT機器や組み込み機器のOSには、WindowsやLinuxが広く採用されており、Windows版の「WhiteSec」は、2017年12月に販売を開始しました。今回、「WhiteSec」のお問い合わせの中で多くのお客様から頂いたLinux対応へのご要望にお応えするために、「WhiteSec」Linux版の提供を開始します。

## 【「WhiteSec」Linux版の特長】

### 1. ホワイトリスト実行制御で未知のマルウェアの活動をブロック

あらかじめホワイトリストに登録されたプログラムのみ実行を許可するため、新種のマルウェアが侵入した場合でもマルウェアの実行を抑止します。ウイルス定義ファイルが不要なため、定義ファイルの更新が困難な組み込み機器をマルウェアから守ります。

### 2. 機器の性能に影響を与えないセキュリティ対策

マルウェア対策では、改ざんされたプログラムの実行を防ぐために、毎回実行時に改ざんチェックを行う方式が一般的ですが、改ざんチェック処理の負荷が機器性能に大きな影響を与えます。

「WhiteSec」は、セキュアOS技術により改ざんチェック処理が不要となりセキュアかつ高速にプログラムを実行できます。

また、ハードウェアリソースの少ないLinux搭載IoT/組み込み機器で動作させるために、必要な機能に絞り再設計したことで、数百KBとコンパクトなモジュールサイズを実現しました。

### 3. 保守サービスの個別延長（オプションサービス）

長い耐用年数が想定されるIoT/組み込み機器に合わせて、お客様のご要望に応じた保守サービス期間の延長に個別で対応します。

### 4. 「ポーティングサービス」／「セキュリティ設計コンサルサービス」（オプションサービス）

Linuxの各種ディストリビューションやお客様独自のLinux環境で動作させるために「WhiteSec」をカスタマイズする「ポーティングサービス」を提供します。

また、機器への「WhiteSec」導入の支援とシステム全体のセキュリティ対策を支援する「セキュリティ設計コンサルサービス」を提供します。



【販売価格】 個別見積

※デバイス個数や利用形態などお客様に合わせた柔軟な価格設定でご提供します。

【販売開始日】 2018年5月29日

【販売目標】 5年間で10億円

【関連Webサイト】

- 「WhiteSec」  
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/whitesec/>
- IoT/組み込み機器向けマルウェア対策の自社開発ソフト「WhiteSec」を販売開始  
(2017年12月25日発表)  
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/resources/news/press-releases/2017/1225.html>

【注釈】

(注1) 「ゼロデイ攻撃」

ソフトウェアの脆弱性が発見されてから修正プログラムなどの対策が提供されるまでの間に行われる攻撃。

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL：<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、53のソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

## 報道関係者お問い合わせ先

---

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail：[ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com](mailto:ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com)

# お客様お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ [商品お問合せ窓口](#) >

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

 [WhiteSec詳細](#)

[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)